

[協働事業の企画書概要]

<p>事業名</p> <p>事業主体</p>	<p>障害児者に対する地域生活支援事業</p> <p>NPO法人アシストやまと</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか?』</p> <p>障害者が地域で生き生きと安心して生活が送れるよう1人1人のニーズに対応する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立生活援助</li> <li>・ 作業所や学校・病院等の送迎</li> <li>・ 余暇活動支援</li> </ul>
<p>どういう主体と協働するのがよいと考えていますか?</p>	<p>主体A：大和市</p> <p>主体B：福祉関係団体</p> <p>主体C：地域住民</p>
<p>協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか?</p>	<p>主体A：・コーディネーター費用の一部負担</p> <p>・ 公共施設の提供（活動場所及び備品等の保管場所）</p> <p>・ 市の機関等での紹介</p> <p>・ 要支援者の制度等に関する研修機会の提供</p> <p>主体B：・ 要支援者及び家族のニーズの集約と定案</p> <p>・ 情報の提供</p> <p>主体C：・ ボランティア活動への参加</p>
<p>その他</p>	<p>障害者は地域住民より「支援すべき特別な存在」として見られがちであるが、支援は必要であるが人格は平等で対等であるという視点を持つことによって「特別な存在」ではなく「対等な存在」となる。これがノーマライゼーションの地域社会であると思うし、それには地域住民参加は不可欠と考える。</p>